

|          |  |             |  |              |  |
|----------|--|-------------|--|--------------|--|
| 保育方針     | 豊かな人間性をもつ子どもを育成する。<br>子どもが躓いても前を向くことができるように、転んだら起き上がれるように、人に助けの手を差し伸べることができるように、自分と人の命の尊さを感じられる子どもたちを、保護者、地域の方々の意向を受け止めながら保育にあたっていく。 |             |  | 保育目標         | ～おひさまっこ～〇祈りができる子ども(人・環境に気づく子ども) 〇命の存在と尊さを感じられる子ども 〇生きる力を育み、転んだら起き上がれる子ども |
| 評価項目     | 評価内容   | 前 期 (4月～9月) |  | 後 期 (10月～3月) |  |
|          |  | 評価          | 評価内容・取り組みの状況                                     | 評価           | 評価内容・取り組みの状況   |
| 保育内容について | 保育課程、保育方針、保育指導計画等の見直しを行っている。   | A           | 職員話し合いの中でお互い見直しを行ってきた。                           | A            | 保育指導計画の見直しをして計画を立てることを再確認する  |
|          | 保育目標は全職員で検討し理解できている。   | B           | 保育目標を再度確認し理解の確認をしている。                            | B            | 話し合いなどをおこない周知できるようにしている。   |
|          | 子どもの発達過程に応じた指導計画を作成し保育をしている。   | B           | できることを多くする保育工夫が足りない。                             | A            | 子どもたち個々の自主性大切に保育の計画を作る。  |
|          | 生きる力をもち考える保育を行う。   | B           | 職員からの声かけが多すぎて子どもたちへの指示が多く感じた                     | B            | 自分で判断し自分の考えを伝えて動いていくことに時間をかける  |
|          | 行事のねらいを明確にして計画、実施をおこなう。  | B           | 事前に話し合いをおこない計画を知っていく。                            | B            | 普段の保育に計画を取り入れて行事につなげていくように計画   |
|          | 障がいのある子に安定した環境を整備し対応の配慮をしている。  | A           | 保護者との面会を多くしてその子にあった配慮をおこなう                       | A            | 保護者と連絡会をおこない家庭と保育園の連携を充実させた  |
|          | 小学校との連携、就学計画に基づき保育の内容等保護者に伝える  | B           | 就学前に必要な内容を保育士自身ももっと理解する必要あり                      | A            | 保育園から提案をしたり希望されたりしたことはしっかり連携できた  |
| 健康・食育・安全 | 緊急時(事故、感染症等)の安全体制が整備されている。   | A           | 体制は整備されている。                                      | A            | 速やかに関係機関に報告をおこない、拡大防止に努めることができた  |
|          | 安全確保の為に防災計画を立て定期的に訓練をしている。   | A           | 緊急の場合の練達方法を繰り返し行っていく。                            | A            | マニュアルを作成し、周知をおこなうことができた。   |
|          | 基本的生活習慣の援助と共に情報提供をおこなう。  | A           | 特に気になる家庭がある場合は声をかけて確認をおこなっている                    | B            | 時間をつくり、話し合いをおこなうように心がけてきた。   |
|          | 食育、楽しい食事の配慮、環境の工夫をしている。  | B           | 自分のペースで食事ができること、季節の食材などを取り入れる                    | B            | 食べることに時間がかかってしまう子もいて工夫が必要。課題   |
|          | アレルギー、除去食、誤食防止に配慮している。   | A           | 食器の色から食事の場所など、多人数の確認を怠らない。                       | A            | 未満児は特にテーブルの配置も工夫して触らないようにも考えた。   |
| 子育て支援    | 保護者からの相談、意見に適切な対応、援助を行っている。  | A           | 保育園の意図を理解していただくようにしたい                            | B            | 保育園に伝えることなく関係機関に伝えることが多く、開けた園にしたい。                                       |
|          | 園開放を行う。(園見学の開放)  | B           | 園開放を行事と一緒にすることでメリット、デメリットがあり何とか一緒にできるよう職員を配置したい。 | A            | 感染症で中止になる場合、ホームページに早めに公表できた。   |
| 資質向上     | 計画的に園内研修を行っている。  | B           | 救急法などの研修は必須でおこなうが時間が取れなくなっている                    | A            | 回覧をおこない、短時間ではあるが研修はおこなうことができた。   |
|          | 自分の保育目標をもつ   | B           | 職員間で差があるように思い、話し合いなどを多くする。                       | B            | 個々の差がありまた、共通の保育感が少ないと感じた。  |
|          | 自己評価を行い自分の保育の改善に努めている  | B           | 評価は自分を向上する前提で行っていく                               | B            | お互いに意見を言い合うことが少なく助言も少ない。   |
|          | 全員が話し合いに意見をもって参加する。  | B           | 同じ内容の話し合い、報告会になってしまわないよう工夫する                     | B            | 意見交換が少なく、見直しが必要だと感じている。  |
| 運営・管理    | 職員会議を適切に行っている。   | A           | 短時間でも回数を増やして細やかに周知するよう行っている。                     | A            | 後期に入り、他のクラスの様子についても意見を出し合う。  |
|          | 守秘義務、法令の遵守、個人情報、苦情解決等適切におこなう。  | A           | 苦情、意見内容を直接園に言ってくれるように促したい。                       | A            | 職員園児全ての守秘義務を守るようになる。   |
|          | 施設内外、設備、遊具の安全点検を計画的に行っている。   | A           | 毎週、確認し点検日誌に記入し報告をおこなう。                           | A            | 全員が点検することにより危険箇所など把握し、迅速に修理する  |
|          | 園舎修繕の安全管理につとめ連絡を怠らない。  | A           | 今年度、園舎大型修繕に伴い保護者に向けて発信をおこなった                     | A            | 大型修繕が事故なく怪我無く無事に終了することができた。  |

|               |   |  |              |   |
|---------------|---|--|--------------|---|
| 評 価           |   | 課題、改善策   | 後 期 (10月～3月) | 総 合 評 価   |
| 十分に達成されている    | A | 園舎の大型修繕に伴い、紙ベースとメール各保育室、通路をご案内した。行事に合わせ工事ヶ所の変更等をお願いし、怪我事故なく保育を行えた。が、保護者の方々に行事参加の人数など、安全確保のためにお願ひしたことが通じず残念だった。保護者会との連携をおこなう。 |              | 無事に園舎の修繕工事をおこなうことできた。保護者の皆様にもご協力を頂き、保育室の移動、時間外保育場所の変更などご理解頂けて心から感謝いたします。 職員の連携などに関しては滞ることがあるときは、即時話し合いをおこない周知をした。 |
| 達成されている       | B |  |              |   |
| 取り組みはしているが不十分 | C |  |              |   |
| 不十分           | D |  |              |   |